

# 音声認識サポーター啓発・養成講座

社会福祉法人 名古屋市身体障害者福祉連合会  
〒456-0022 愛知県名古屋市熱田区横田二丁目4番16号

## 助成事業の概要

音声認識サポーター啓発・養成講座の目的は、聴覚障害者のコミュニケーション支援のひとつとして近年音声認識がさまざまな場面で活用されている状況があり、より効果的に活用されるために音声、認識アプリの使用時における「編集者(サポーター)」の養成を行うと共にさらなる音声認識アプリの活用について地域社会に向けても広く啓発を行うためです。また、サポーター養成が必要な理由としては、音声認識アプリを使用し、声を文字化することができるが、すべてを正確に変換できるわけではないため、間違ったところを効率よく修正をすることでより精度を高めることができます。そのためには、修正を担当する「編集者(サポーター)」が必要となります。

- ・全体講習 音声認識アプリ「UD トークとは何か？」(2021年1月17日(日)13時30分～15時00分)
- ・基礎編 2月9日(火)2月13日(土)18時30分～20時00分
- ・応用編 2月13日(土)20日(土)10時30分～12時00分
- ・応用編 3月2日(火)4日(木)8日(月)9日(火)18時30分～20時00分

## 事業の成果

講座定員を当初予定では、20名としていたが、参加希望者が36名(大学機関からの問い合わせも1件あり)あったため、講師とも連絡調整のう

え全員を受け入れる体制として講座を開講しました。

新型コロナ感染拡大防止策として、すべてをオンライン形式としたことで、愛知県内だけではなく北海道、山梨県、静岡県、岐阜県と多くの地域からも参加希望があった。そのことにより、講座の中で各個人の取り組み状況だけではなく、各地域ですすでに取り組んでいる内容など特に先進的に取り組みをおこなっている北海道や岐阜県の話なども聞くことができたり、今後連携をして取り組んでいけるつながりもできました。各地域で試行錯誤をして実践していることなどもお互いに情報共有をすることでさらに技術向上を目指すことができると感じました。

特に、昨年からの急速なオンライン化に伴い、リモートワーク、授業、イベントなどで多用されるようになってきたことで、Zoom や YouTube などのアプリに字幕を付けられることは、大変利便性が高いという話もありました。利用者側のメリットとして、リアルタイム表示に近いため発言のタイミングがつかみやすい、映像と字幕を同一画面にできるので視線移動が少ない、全文入力の際ニーズや好みに合わせられる等があり、入力者側も、入力の労力、移動時間、スペース、人数などの面で負担軽減につながる期待を抱きました。また、参加者からの意見としては、「手話画面で新しい表現などが出たときに字幕で確認したり、話者の口の読み取りが合っているかを字幕で確認したりしながら、理解を進めている様子が伺えたので、これができるのは、リアルタイム全文字幕があつてこそだと感じました」ともあり、単に字幕

を付与をしていくということではなく、いろいろな視点での取り組みにつなげていけると感じました。

## ■ 成果の広報・公表

講習会の開催報告を、ホームページに掲載し、Twitter でも記事を配信します。全国の情報提供施設、名古屋市内の各区役所、手話サークル、障害者関係機関などの配布をしている情報誌 Day by Day にも記事掲載を行います。講習会参加者それぞれにも SNS を利用して受講の感想などを広く啓発していただけるようお願いしました。また、今後、開催予定の各種講習会（手話通訳者養成、手話奉仕員養成、要約筆記者養成）などにおいても周知を行い、次年度以降にも講座を開催したいと思います。

## ■ 今後の展開

新型コロナ感染拡大防止の観点からオンライン形式になったことで、地元だけではなく、各地域（北海道や岐阜など）で活動されている方たちとも交流することができ繋がりを持つことができた。受講生からのアンケートにも、トライアル活用をする実践の場を切望されているため、模擬編集を実際に行う機会を設け、スマホのアプリで音声を文字化する、PC で編集の練習をするといったことを個人練習で研鑽をしてもらいつつ、機器のつながり方、会場でのセッティングなど実地体験で習得できることも含めて企画をしていきます。聴覚障害者のみならず、トータルコミュニケーションツールとしての可能性をさらに高められるようないろいろな場面での活用をチームとして取り組み、ひとりでも多くのサポーターを増やしていきたいと思います。そして一人一人のつながりを次世代につなげていくことを目指します。